



ソーシャルフットボール講習会を通じた 地域共生の促進



📍 実施年度
2017年度～継続中

📍 主な連携先・メンバー
インクルーシブフットボールクラブ Half Time (代表：田淵誠 平山 悠一) / 堺市 精神保健課/大阪ソーシャルフットボール協会

📍 活動地域
堺市 / 関西大学堺キャンパス

👉 活動の目的

- ・堺市域で活動している精神障がい者の団体等に呼びかけて、ソーシャルフットボール参加希望者を募り、参加者が楽しめる講習会を通じ、精神障がい者の地域での活動の場づくりを行う
- ・精神障がいに対する地域の理解の促進をめざす

👉 連携にいたる経緯

人間健康学部では、精神保健福祉論及び初級障がい者スポーツ指導員等の資格取得に関連した講義を提供している。そこで精神障がいをもつ人が自由に参加するインクルーシブフットボールチーム (Half Time)、大阪ソーシャルフットボール協会と連携し、本事業を企画した。



👉 活動内容

堺市域で活動している精神保健福祉分野の医療機関や関連団体等に呼びかけて参加希望者を募り、半日単位の講習会を7月と翌年3月に開催した。障がい者福祉・障がい者スポーツに関心をもつ本学の学生にもボランティアとして参加を促した。講習会は堺キャンパスアリーナで開催。開会のあいさつ、オリエンテーション、ルール説明、準備体操・アイスブレイキング、ウォーミングアップ、パス・ドリブル・シュート練習、ミニゲーム、整理体操、懇親会、閉会のあいさつ、アンケート記入、といった内容で行った。講習会には、精神障がい者当事者、Half Time等関係団体スタッフ、関西大学関係者(学生ボランティア等)が30名余り参加。

👉 活動の成果

- 1 参加者のアンケートでは「楽しかった」「交流になった」という意見が多く、講習会の継続を望む意見が多くを占めた
- 2 ボランティアとして参加した学生から、「障がい者の全然ちがう側面が見えて、その人の理解ができて良かった」「みんなうまくて楽しませてもらいました」という声が聞かれた

👉 今後の課題・目標

- 1 2018年度に引き続き、同様の事業を継続することで、ソーシャルフットボールの定着と普及を図る
- 2 こうした障がい者スポーツの普及とともに、その意義の確認と事業の評価を継続する

👤 教員紹介

人間健康学部教授 涌井 忠昭(わくい ただあき)
人間健康学部では、レクリエーション支援論、福祉レクリエーション論等の授業を担当している。
現在、堺市障害者スポーツ大会運営委員会委員長、2014年から全国障害者スポーツ大会堺市選手団長を務めている。



事業
領域

堺市推進事業

健康づくり・
地域福祉の推進

人間健康学部推進事業

教育研究の
地域還元

教員の専門分野・
学生活力の活用

